

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市鹿野児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》22,537人（前年度比 95,5%） 平成30年度 23,595人 平成29年度 20,215人 平成28年度 19,667人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 指定管理者に支払った費用 31,018千円（26,539千円） その他市が負担した費用 0千円（0千円） 《収入》 使用料収入 0千円（0千円） その他収入 0千円（0千円）
		( )は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館地域運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、子どもの自主性を大切にしており、朝の会で子どもが司会をできるように設定したり、遊びのリーダーを作って子ども同士で話し合いルールを決めたり、自主的に遊びを組織できるように支援をしている。保護者の組織活動を支援し、夏季休業中の親子行事「ミニ縁日」の実施等により、保護者との協力関係を築きながら、親子交流、保護者同士の交流の場を設けている。クラブ通信を年10回発行し、育成支援の内容や子どもの様子について家庭に伝え、家庭と連携した育成支援に取り組んでいる。	18/18

### 三 評価総括

#### 《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》

「笑顔あふれる児童館」を目指し、誰でも気軽に来館し楽しく過ごせるよう児童館運営に努めてきた。利用者へは笑顔で誠意をもって応対し、利用者からは「温かい雰囲気だ」「職員が明るく、優しい」などの声が多くあった。

小学生対象事業では、多様な工作や運動をはじめとして、バター作り、しめ縄作り、ジャグリング、科学マジックなどの活動を行い、子どもたちに達成感、満足感を味わわせることができた。また、小学4～6年生対象の「たのレクラブ」では、子どもたち自身が年間活動計画を立てることにより自主性を育んだ。地下鉄利用の七北田公園遠足、夏祭り出店、映画館での映画鑑賞など地域の特性を生かした活動を行うことができた。

乳幼児親子対象事業では、読み聞かせ、音楽遊び、子育てサロン、相談サロンをそれぞれ毎月実施し、子育て中の親同士の交流を広げた。それとともに子育ての楽しみや悩み等について話し合うことができた。2、3歳児対象の幼児クラブでも、毎月の活動を通して継続的な交流を図ることができた。地域交流として、児童館祭りや新春かくし芸大会では、多くの地域の方々や保護者が参加し、子ども達との交流を深めることができた。

児童館地域運営懇談会では、小中学校長、各関係機関の長、町内会長等と情報交換を行い、館運営と子どもの成長について共に考えた。子育て支援クラブ「バンビ」や民生委員児童委員連絡協議会は、行事等への協力が多大で、なくてはならない存在である。児童クラブでは、安心・安全を心がけ、大きな事故もなく、子ども達は楽しく安全に過ごすことができた。また、保護者連絡会や小学校とも常日頃のコミュニケーションを図り、連携を密にとってきた。課題として、駐車場が狭い、児童クラブの児童数の増加、中高生の利用の減少などがあるが、これらの課題に対応しながら、今後も地域に根ざした児童館として、子どもの健全育成に尽力していきたい。

#### 《施設設置者（仙台市）による評価》

#### 総合評価

小学生対象事業として、高学年児童が自ら年間活動計画を立てて実行する登録制の「たのレクラブ」を設けており、夏祭りへの出店や七北田公園の遠足、映画鑑賞等の館外活動を通して、子どもの「やりたい」気持ちを育て、主体的な取り組みを支援している。鹿野体育振興会等とともに取り組んでいる「鹿野夏祭り」にも「たのレクラブ」としてブースを出展し、打合せから参加するなど、積極的に活動の幅を広げている。

小学校のPTA祭りと館まつりが同日開催となった「鹿野フェス」では、テーマを決めて子どもたちと制作活動に取り組むなど内容の工夫・充実にも努めており、今までで最大の参加人数となったことは大きな成果である。児童館が地域の諸団体と積極的に交流を図り、連携した運営に取り組んでいる結果と言える。

月2回取り組んでいる「かめのこ工房」や児童クラブでも、様々な創作活動の場を提供しており、子どもたちにとって「作りたいもの」や「やりたいこと」が実現できる場になっている。「かのっこ畑」や「将棋教室」、「お話のポケット」など他にも多様な定例・企画行事を実施しており、遊びや活動の幅を広げることで子どもが学び成長する環境づくりに努めている。

乳幼児親子向け事業では、日常的に民生委員児童委員や看護師、子育て支援クラブの託児ボランティア等の協力を得て事業運営しているほか、子育て相談員と育児相談ができる「ホットサロン」やお母さんがリフレッシュできる「お茶Berry！サロン」など、多彩な行事を定期的実施しており、地域が一体となって子育て支援に取り組んでいる点が評価できる。

S

#### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

#### 特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課